

日本福祉文化学会 中部東海ブロック通信 第9号

担当理事：〒425-0041 静岡県焼津市石津 751-1 平田 厚 Email: monogusa-tomy@theia.con.ne.jp

「名古屋発、"福祉文化元年"を築く ～今こそ、人を育てる、アートを創る～」

『第30回日本福祉文化学会全国大会東海大会/第1回中部東海ブロック大会』は、32名からなる実行委員会と、精力的に開催地元委員中心に事務局会議を積み重ね、165名以上の参加者のもと、盛大に開催しました。"福祉文化元年"…「中部東海ブロックパワー」いよいよ発進です。2020年度「第2回中部東海ブロック大会」開催に向けて…

中部東海ブロック会員の皆様、「第30回日本福祉文化学会全国大会東海大会/第1回中部東海ブロック大会」が盛況のうちに終わりました。ご支援ご協力ありがとうございました。

振り返って見ますと、2018年10月28日の第29回学会大大阪大会において、第30回全国大会を、愛知県名古屋市・中京大学名古屋キャンパスで開催する旨の引き継ぎが行われました。その後、4か月間、中京大学の中島洋学会理事中心に、愛知・名古屋周辺の会員に呼び掛け、2月19日準備委員会開催につながられました。石田学会会長はじめ、愛知県内会員3名、静岡県内会員2名、計6名による議論を基に「中部東海はひとつ」と、大会名称は「第30回日本福祉文化学会全国大会東海大会」と決定。また、この大会を契機に「中部東海ブロック」の活性化を期待して「第1回中部東海ブロック大会」を加えました。

3月22日第1回実行委員会において、中島洋学会理事を実行委員長に、そして事務局長を山下一郎氏にお願いし、また、山下氏が所属されています株式会社豊田マネージメント研究所に、重要な本大会事務局機能を引き受けていただき、大会成功につなげていくために、精力的に関係方面に協力及び支援を働きかけていただきました。9か月間で何が出来るかの大きな課題を基に、中島実行委員長、山下事務局長中心に、愛知県及び近隣区域の実行委員中心に精力的に取り組んでいただき、意義ある第30回大会『名古屋発 福祉文化元年を築く』が、165名以上の参加で開催することが出来ました。因みに、実行委員会委員構成は、新会員の参画により結束を固められた愛知県18名、静岡県4名、岐阜県3名、三重県2名、大阪市1名、京都市1名、東京都1名、岡山県1名、新潟県1名と、これまで学会大会で豊富な経験を持たれている学会理事も加わっていただきました。その後4月、6月、8月と委員会を積み重ね議論を深めてまいりました。

振り返ってみると、2002年(平成14年)裾野市で「第13回日本福祉文化学会静岡大会」(650名参加)を開催していますので、17年ぶりに、中部東海ブロックに、「学会大会」が戻ってきたこととなります。

なんと、「第13回静岡大会 -大会テーマ：富士山麓いのちと暮らしによりそう福祉文化の創造と推進-」も、開催日は、偶然にも、11月30日・12月1日と一緒です。

本学会では、結成当初から「ブロック活動重視」の取り組みをされてきたと感じています。そして、全国各地で、「各種ブロック大会」等がいろいろと工夫されて開催今日に至っています。

学会関連資料を調べますと、中部東海ブロックにおいては、2007年8月に、「中部東海ブロック研究集会」を岐阜県岐阜市において、「小地域福祉教育の推進」をメインテーマに、意義ある研修に福祉文化活動に関心を持たれた関係者が一堂に集まり研修をされています。

改めて、こうした、尊い「ブロック活動」の結集を今後に残し「名古屋発 福祉文化元年」をつなぐために今回の第30回大会に「第1回中部東海ブロック大会」を重ね開催することができました。

「新たな福祉文化の推進」を今後根付かせるために、「ブロック大会」をブロック会員の積極的な参画により、継続開催できるよう努力していきたいものです。大会に関わりましたブロック理事として、引き続きご協力をお願いします。



●2019年度第2回学会理事会が11月30日中京大学で開催されました。
「後期中部東海ブロック活動計画」を説明しました。(通信第7号再掲)

1. 活動の方向性

前期ブロック活動に引き続き、「第30回日本福祉文化学会東海大会」(11月30日, 12月1日)の実現に向け, 前期ブロック活動を通じて,

- (1) ブロック5県に新規会員拡大の呼び掛けに引き続き努力する
- (2) 各5県に世話人(仮称)をお願いし, ブロック内の活動の共有に努める
- (3) 学会大会を通じて, 中部東海ブロック会員の組織化の安定化に努める
- (4) 「第2回中部東海ブロック大会」開催実現に向けたブロック活動に努める

2. 着眼項目

- (1) 学会の啓発活動を通じて, 会員加入の積極的な呼び掛けと共に, 新旧会員相互の連携の維持に努める.
- (2) ブロック通信の発行による“ブロック活動の見える化”に努める.
- (3) 各県会員の状況把握の努力と共に, 「各県ブロック世話人」(仮称)により, 各県域の地域性と福祉文化の創造性について学会活動の継続に努める.
- (4) 学会大会実行委員会を「ブロック会員研修会」と位置付け, 会員相互の研究協議の場づくりに努める.
- (5) 「第2回中部東海ブロック大会」への基盤づくりに努める.
- (6) その他, ブロック会員から提案事項の実現につなげる努力をする.

●中部東海ブロック関連記録(10月18日~12月10日)

月/日	活 動 内 容
10/18	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ブック通信第8号発行し, 「学会大会」参加呼び掛け中心に, 会員及び関係方面に送付 ➢ 本日までの学会大会参加申し込み状況(大会事務局報告) 確定52名 見込47名 計99名
10/19	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 焼津福祉文化共創研究会10月定例研究会において, 再度学会大会の開催と経過報告・参加呼び掛け実施 ➢ 静岡県内大会実行委員関係者協議(参加手続き確認・広報啓発・大会運営). ➢ 静岡県社協関係職員に, 学会大会参加申し込み状況報告と近県社協関係者への呼び掛け要請
10/21	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 本日までの学会大会参加申し込み状況(大会事務局報告) 確定56名 見込51名 計107名 ★ 一応, 当初の目標参加者数107名に達しているが, 開催までどこまで伸びるかの努力確認
10/23	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 学会事務局より, 11月30日10:00第2回学会理事会開催案内あり
10/24	<ul style="list-style-type: none"> 11月13日までに, ブロック前期活動報告及び後期活動計画提出の連絡あり ➢ 学会大会事務局との連絡調整 ➢ ブロック前期活動報告及び後期活動計画提出
10/27	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 本日までの学会大会参加申し込み状況(大会事務局報告) 確定114名 見込4名 計118名
11/02	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 第4回学会大会実行委員会開催(@名古屋市内 中京大学名古屋キャンパス)
11/16	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 学会大会静岡実行委員打ち合わせ会開催 ➢ 「第18回静岡県福祉文化研究セミナー」にて, 学会大会に関連した報告実施
11/18	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 学会大会事務局会議開催 ➢ 学会大会事務局より, 当日のタイムスケジュール及び役割連絡あり
11/30	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 学会理事会にてブロック活動報告
12/01	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 第30回学会全国大会東海大会開催(~12月1日)
12/05	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ブロック通信第9号編集作業 ➢ 静岡県社会福祉協議会に出向き, 今回の学会大会終了の報告と共に, 当日の職員参加に対するお礼をする
12/10	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ブロック通信第9号発送作業